



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場会社名 株式会社ジェイテック 上場取引所 東  
 コード番号 2479 URL http://www.j-tec-cor.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 土田 雅弘 TEL 03-6228-7265  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,628	△1.0	13	—	12	—	1	—
27年3月期第2四半期	1,645	△1.6	△27	—	△28	—	△39	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0.21	0.21
27年3月期第2四半期	△4.71	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	1,346	643	47.8	75.28
27年3月期	1,407	646	45.9	75.66

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 643百万円 27年3月期 646百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,621	8.2	133	68.0	132	69.8	110	89.7	12.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社 (社名) ベンチャービジネスサポート株式会社

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期2Q	8,547,800株	27年3月期	8,547,800株
28年3月期2Q	2,800株	27年3月期	2,800株
28年3月期2Q	8,545,000株	27年3月期2Q	8,417,373株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策等を背景に企業業績や雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調をもって推移いたしました。しかし、成長鈍化が顕著となった中国経済や不安定なEU諸国情勢など、海外経済等の動向による国内景気への影響が懸念されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業の主要取引先である自動車業界においては、先進安全技術への高まりにより機械設計開発分野に加え、電気・電子設計開発分野、ソフトウェア開発分野の技術者の要請が増加したことにより新卒テクノロジストの配属が進捗し、稼働率が前年同期を上回りました。

また、主力事業の技術者派遣である技術職知財リース事業において技術職の人材不足を受け、採用活動の強化に努めました。更に、情報処理関連のメーカーからの要請も高水準で推移しており、システム開発受託業務の体制づくりに努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,628百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益13百万円(前年同期は27百万円の営業損失)、経常利益12百万円(前年同期は28百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円(前年同期は39百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 技術職知財リース事業

産業用機器関連及び電子・電気機器関連等の顧客企業からの取引が前年同期より増加したものの、技術職知財リース事業の売上高は1,566百万円(前年同期比1.3%減)となり、セグメント利益は179百万円(前年同期比39.9%増)となりました。

## ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

ベンチャービジネスサポート株式会社の新規設立及び他社からの事業譲受により新規取引が増加した結果、売上高は62百万円(前年同期比7.6%増)となり、セグメント損失は6百万円(前年同期は7百万円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は1,346百万円となり、前連結会計年度末より61百万円の減少となりました。これは主にのれんの増加、現金及び預金の減少によるものであります。

負債総額は703百万円となり、前連結会計年度末より58百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の増加、未払消費税等の減少、未払金の減少によるものであります。また純資産は643百万円となり、前連結会計年度末より3百万円の減少となりました。

なお、自己資本比率は47.8%と前連結会計年度末の45.9%に比べ1.9ポイント上昇いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少(前年同期は2百万円の増加)し、687百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は37百万円(前年同期は35百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益12百万円、売上債権の減少額34百万円等による資金の増加があったものの、未払金の減少額16百万円、未払消費税等の減少額78百万円、法人税等の支払額15百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は61百万円(前年同期は14百万円の支出)となりました。これは主に事業譲受による支出62百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は13百万円(前年同期は18百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額8百万円等による資金の減少があったものの、短期借入金の増加額22百万円等により資金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしましたとおり、売上高3,621百万円、営業利益133百万円、経常利益132百万円、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円としております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、ベンチャービジネスサポート株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（3）、連結会計基準第44-5項（3）及び事業分離等会計基準第57-4項（3）に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間のすべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。なお、この変更による影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	774,185	687,598
売掛金	421,623	387,552
繰延税金資産	40,582	40,545
その他	43,628	45,576
貸倒引当金	△765	△765
流動資産合計	1,279,256	1,160,507
固定資産		
有形固定資産	21,031	19,909
無形固定資産		
のれん	558	59,090
その他	4,531	4,618
無形固定資産合計	5,090	63,708
投資その他の資産		
敷金及び保証金	77,065	74,692
その他	25,542	27,745
投資その他の資産合計	102,607	102,437
固定資産合計	128,728	186,055
資産合計	1,407,984	1,346,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	148,000	170,000
未払費用	57,067	55,306
未払金	126,942	111,834
未払法人税等	17,232	13,668
未払消費税等	114,825	36,068
賞与引当金	153,874	157,705
その他	14,109	25,171
流動負債合計	632,051	569,755
固定負債		
退職給付に係る負債	121,794	125,567
その他	7,359	7,705
固定負債合計	129,153	133,272
負債合計	761,204	703,028
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,119	261,119
資本剰余金	245,910	245,613
利益剰余金	142,777	136,069
自己株式	△659	△659
株主資本合計	649,147	642,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,933	10,436
退職給付に係る調整累計額	△11,535	△9,280
その他の包括利益累計額合計	△2,602	1,156
新株予約権	234	234
純資産合計	646,779	643,533
負債純資産合計	1,407,984	1,346,562

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,645,243	1,628,886
売上原価	1,327,943	1,237,194
売上総利益	317,300	391,692
販売費及び一般管理費	344,948	378,228
営業利益又は営業損失(△)	△27,647	13,463
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	193	243
その他	81	73
営業外収益合計	280	324
営業外費用		
支払利息	940	958
営業外費用合計	940	958
経常利益又は経常損失(△)	△28,307	12,829
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△28,307	12,829
法人税、住民税及び事業税	11,650	11,001
法人税等調整額	—	37
法人税等合計	11,650	11,038
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,958	1,790
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△296	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△39,661	1,790

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△39,958	1,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,503
退職給付に係る調整額	2,792	2,255
その他の包括利益合計	4,372	3,758
四半期包括利益	△35,585	5,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,289	5,548
非支配株主に係る四半期包括利益	△296	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,307	12,829
減価償却費	3,043	3,312
のれん償却額	854	3,418
受取利息及び受取配当金	△198	△250
支払利息	940	958
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,869	3,830
売上債権の増減額(△は増加)	20,033	34,071
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,756	6,028
未払金の増減額(△は減少)	△12,362	△16,049
未払費用の増減額(△は減少)	7,898	△1,760
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,131	△78,756
預り金の増減額(△は減少)	△521	11,213
その他	△3,761	△562
小計	47,374	△21,716
利息及び配当金の受取額	198	250
利息の支払額	△902	△949
法人税等の支払額	△10,867	△15,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,803	△37,924
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,068	△843
無形固定資産の取得による支出	△2,220	△683
子会社株式の取得による支出	△12,790	—
事業譲受による支出	—	△62,200
敷金及び保証金の差入による支出	△255	△130
敷金及び保証金の回収による収入	1,791	2,067
その他	3	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,538	△61,939
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,100	22,000
配当金の支払額	△8,262	△8,414
株式の発行による収入	10,157	—
リース債務の返済による支出	△491	△309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,696	13,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,568	△86,587
現金及び現金同等物の期首残高	646,003	774,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	648,572	687,598

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,587,109	58,134	1,645,243	—	1,645,243
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,587,109	58,134	1,645,243	—	1,645,243
セグメント利益又は損失(△)	128,262	7,773	136,036	△163,684	△27,647

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△163,684千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,566,870	62,015	1,628,886	—	1,628,886
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	525	525	△525	—
計	1,566,870	62,541	1,629,412	△525	1,628,886
セグメント利益又は損失(△)	179,469	△6,134	173,335	△159,871	13,463

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△159,871千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。